

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

協同組合 兵庫木材センターにおける
木質バイオマスボイラーの新設

排出削減事業者名：協同組合 兵庫木材センター

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	協同組合兵庫木材センター
排出削減事業を実施する事業所 (複数の事業所で実施する場合、行を挿入し全事業所を記載すること)	
事業所名	協同組合 兵庫木材センター
住所	〒671-4131 兵庫県宍粟市一宮町安積字丸山 217-20
排出削減事業共同実施者 (J-クレジット保有予定者) (複数の排出削減事業共同実施者がいる場合、行を挿入し全ての共同実施者を記載すること)	
排出削減事業 共同実施者名	株式会社 FT カーボン
その他関連事業者 (複数の関連事業者がいる場合、行を挿入し全ての関連事業者を記載すること)	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

協同組合兵庫木材センターにおける木質バイオマスボイラーの新設

2.2 排出削減事業の目的

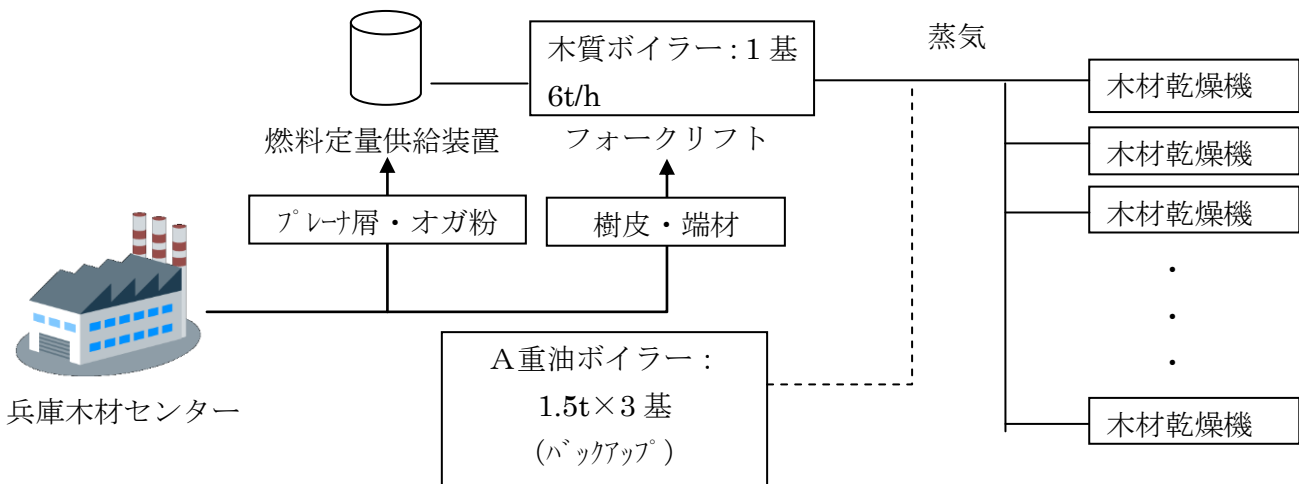
木材乾燥機の整備に当たって、木質バイオマスボイラー1台を新設する。化石燃料由来のエネルギーではなく、木質バイオマスへのエネルギー利用によって、CO2 排出量を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO2 を実質的に排出しないものとみなされるため、ボイラーの燃料に化石燃料を利用した場合に比べて、CO2 排出量を大幅に削減する。

(備考)木質バイオマスボイラーの新設プロジェクトの概要

(排出削減事業実施後の設備概要)



2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

変更なし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2010年 12月 1日

3.2 モニタリング対象期間

2013年4月1日 ~ 2016年3月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001-A	ボイラーの新設

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

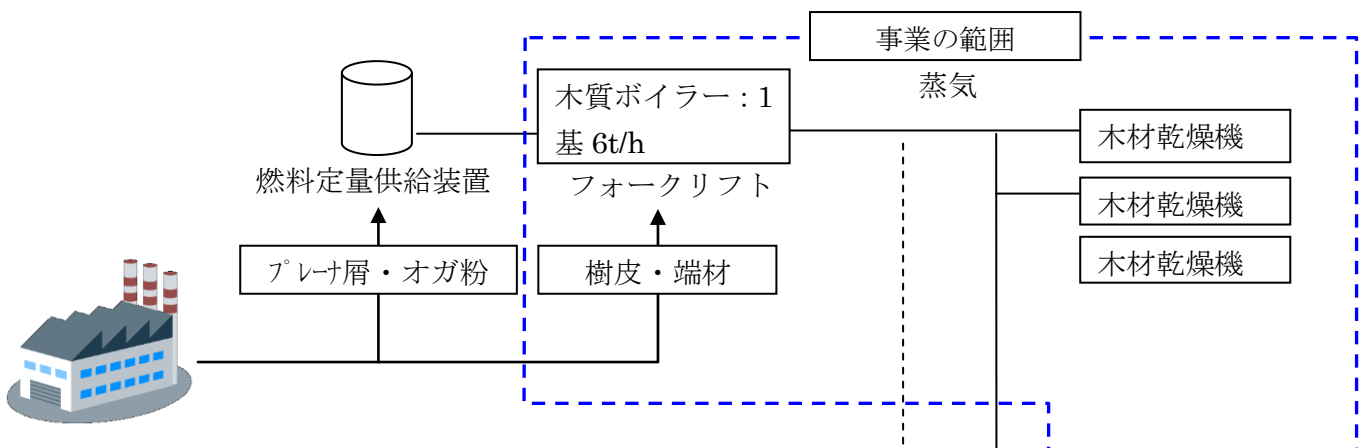
活動量は採用しない

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

バイオマスボイラー及びボイラーから蒸気の供給を受ける設備



兵庫木材センター

A重油ボイラ
ー：1.5t×3基
(ハックアップ)

—
.
.
.
— 木材乾燥機
(木材乾燥機=17機)

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合)変更理由
W _{Pj}	バイオマスボイラー給水量	t	56,652.7	給水メーターによる計測データ	変更なし
B _{Pj}	ブロー率	%	4.7	水質分析報告書に基づく管理値	変更なし
H _{steam,Pj}	蒸気の比エンタルピー	GJ/t	2.761(0.68MPa)	蒸気圧メーターの計測データを用いて計算	変更なし
H _{water,Pj}	給水の比エンタルピー	GJ/t	0.288(69℃)	温度計の計測データを用いて計算	変更なし
CF _{fuel,BL}	灯油の単位発熱量あたりのCO ₂ 排出係数	tCO ₂ /G J	0.0686	J-クレジット制度のデフォルト値	変更なし

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
EM _{PJ}			0.0

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
56,652.7 (t)	2.761 (GJ/t)	0.0686 (tCO2/GJ)	
4.7 (%)	0.288 (GJ/t)		
90.3 (%)			
EM _{BL}			10,152.7

6.3 リークエージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
LE			0

6.4 温室効果ガス排出削減量

	項目	記号	
ベースライン排出量	(7.2)	EM _{BL}	10,152.7
事業実施後排出量	(7.1)	EM _{PJ}	0.0
リークエージ排出量	(7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量		ER	10,152

7 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2013年4月1日 ~ 2016年3月31日)		
	エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (実績)	原油換算 (実績)
バイオマス熱利用量	178,092 GJ	178,092 GJ	4,594.8 kL